

メインジャッジ兼サブジャッジ	サブジャッジ
メインジャッジのコール：(以下、赤文字) 「シルエット競技の選手は、レンジにお入りください。」	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 競技開始前の選手確認 (パーソナルデータ⇒ナンバー・名前を確認) 競技開始前の安全確認 (銃口カバー／ゴーグル等装着) </div>	
ターゲットのセッティング完了+レンジ内立入りなしを確認 ↓ 「銃口カバーを外してください」	
「セフティをかけた状態で1つの的に対してサイティング練習を行ってください」	メインジャッジのコール後、サイティング練習をさせる。
自分の担当選手がサイティング練習を完了したかどうか、確認する。そして、全てのサブジャッジが合図をしたか確認する。	自分の担当選手がサイティング練習を完了したら、手を挙げてメインジャッジに合図をする。 メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。
「スタンバイ姿勢でお待ちください」 選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認し、全てのサブジャッジの合図 (挙手) を確認する。	選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認し、手を挙げてメインジャッジに射撃準備完了を知らせる。 メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。
「シルエット競技 スタンディング スタンバイ・レディ・ゴー！」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴー！と共にストップウォッチを作動させる。 ・「レディ」で腕を上げた選手には、注意すること。 ・競技中、残り弾数・経過時間について質問されたときに答えられるよう、心がける。 </div>	
「1分経過」「1分30秒経過」	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の担当選手が「競技終了！」コール前に5発、発射を終えたら、「競技終了です。」と伝える。 続いて「セフティをかけ、銃口カバーを付けてお待ちください」と伝える。 </div>	
「競技終了！」 ここからブローンに移る 「引き続きブローンに移ります」	★ストップウォッチのリセット忘れずに。
「銃口カバーを外してください」	
「セフティをかけた状態でサイティング練習を行ってください」	メインジャッジのコール後、サイティング練習をさせる。
自分の担当選手がサイティング練習を完了したかどうか、確認する。そして、全てのサブジャッジが合図をしたか確認する。	自分の担当選手がサイティング練習を完了したら、手を挙げてメインジャッジに合図をする。 メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。

<p>「スタンバイ姿勢でお待ちください」</p> <p>↓</p> <p>選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認し、他のサブジャッジの合図（挙手）を確認する。</p>	<p>選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認し、手を挙げてメインジャッジに射撃準備完了を知らせる。</p> <p>メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。</p>
<p>★プローン・スタンバイ姿勢のポイント</p> <p>①マズル先端を下げ、サイティングしない。</p> <p>②トリガーに指をかけない。</p> <p>③セフティ解除、コッキング完了。</p> <p>④身体の一部が前・左・右のラインを踏まないこと。</p> <p>空中にはみ出るのは、差支えない。</p>	
<p>メインジャッジのコール：</p> <p>「シルエット競技 プローン スタンバイ・レディ・ゴー！」</p> <p>★以降、スタンディングと同じ★</p>	<p>★以降、スタンディングと同じ★</p>
<p>メインジャッジのコール：</p> <p>「1分経過」「1分30秒経過」</p>	
<p>自分の担当選手が「競技終了！」コール前に5発、発射を終えたら、「競技終了です。」と伝える。</p> <p>続いて「セフティをかけ、銃口カバーを付けてお待ちください」と伝える。</p>	
<p>メインジャッジのコール：「競技終了！」</p>	<p>★ストップウォッチのリセット忘れずに。</p>
<p>採点後選手の確認をもらい、パーソナルデータ上に記入。選手は退出。</p>	

付録1：シルエット競技・記録欄の記入例

発射・命中記録欄
⇒発射して命中したら○、外したら×

1		10m	6
2		9m	5
3		8m	4
4		7m	3
5		6m	2

得点記録欄
⇒命中したターゲットに対応する得点の欄に○を付ける

【記入例】
1発目 8m命中、2発目 9m外し
3発目 9m命中、4発目 10m外し
5発目 10m命中の場合（得点15点）

① 1発目終了時

1	○	10m	6
2		9m	5
3		8m	4
4		7m	3
5		6m	2

② 2発目終了時

1	○	10m	6
2	×	9m	5
3		8m	4
4		7m	3
5		6m	2

③ 3発目終了時

1	○	10m	6
2	×	9m	5
3	○	8m	4
4		7m	3
5		6m	2

④ 4発目終了時

1	○	10m	6
2	×	9m	5
3	○	8m	4
4	×	7m	3
5		6m	2

⑤ 5発目終了時＝競技終了時

1	○	10m	6
2	×	9m	5
3	○	8m	4
4	×	7m	3
5	○	6m	2

付録2：シルエット競技・異例な事態への対処

1 得点にならない跳弾

(1) 他の選手の跳弾で自分の担当選手の的が倒れてしまった場合

直ちにストップウォッチを止めて、担当選手の競技を中断する。担当選手には、

『他の選手の跳弾のためターゲットが倒れたため、再セッティングを行いますので一旦競技を中断します』と声をかける。

他の全レンジが競技終了するまで担当選手を待機させ、競技が終了した後ターゲットを直し、担当選手の競技を再開する。

(2) ターゲット以外の物体（バックの布、ポールやゴム板）に当たった後、跳弾となってターゲットに当たって倒れてしまった場合

この場合も直ちにストップウォッチを止め、『今倒れたものは、得点になりません。再セッティングを行いますので一旦競技を中断します』と声をかける。

他の全レンジが競技終了するまで待機させ、競技が終了した後ターゲットを直し、担当選手の競技を再開する。

【ストップウォッチが停止していた時間は、競技時間に含まれない。メインジャッジの「競技終了」のコールにかかわらず、ジャッジの時計で2分になるまで競技を行う（2分になる前に5発撃ち終えたら、その時点で終了）。】

サブジャッジは、ストップウォッチの操作（残り時間）と残り弾数の把握が重要なので、落ち着いて対応する。

★ メインジャッジは、再セッティング等でターゲットレンジに人が立ち入る際には、まずは先に選手全員にセフティをかけさせ、銃口カバーを付けるように指示を出す。

2 得点になる跳弾（ラッキーショット）

選手自身の時間内発射の跳弾等によるターゲットへの直接ヒットは、得点とする。

(2024/04/18)